

# 目標、使命、価値観、専門家としての行動規範と倫理的責務

---

IAIA は様々な分野の団体に属する専門家からなるボランティアベースの組織であり、すべてのメンバーが環境と持続可能性に関わる役割を担っている。概していえば、我々の目標は地球とその環境と人を傷つけず、守っていくことである。

## 我々の目標

IAIA は、政策、計画(プラン)、プログラム、事業に十分な情報を提供する模範的なインパクトアセスメントを実施して、世界をリードするネットワークとなる。

## 我々の使命

インパクトアセスメントの地域的能力から世界的能力を発展し深めていくために、すべてのタイプのインパクトアセスメントの模範例の共有と先進的改革のための国際フォーラムを開催すること。

## 我々の価値観

IAIA は、最高の専門性をもって実施する多面的で参加型アプローチのインパクトアセスメントを促進する。

IAIA は、環境面、社会面、経済面、文化面、健康面のアセスメントを開発計画立案に関与させることは、健全な意思決定プロセスと公平性、持続可能性に重要な役割を果たすと確信する。

IAIA は、持続可能性、情報への自由なアクセス、被影響者が意思決定に参加する権利の推進に尽力する。我々が、政策・計画(プラン)・プログラムや事業のアセスメントを実施する際、バイアスのない正しく十分な量の情報を意思決定者と被影響者に提供することを推進する。我々は、インパクトアセスメントが、物理環境や自然環境同様社会や健康にも言及する包括的で多面的なものであるべきだと考える。人権と人間の尊厳の尊重はすべてのアセスメントの基礎となるべきものである。また我々は現在の世代と将来の世代の両方について考慮する義務を負っていることも認識している。

## 我々の倫理的責任

### 専門家としての責務

IAIA は学会として以下のことを推進する：

- 我々は、インパクトアセスメントを、多面的に誠実に、偽りや意図的なバイアスなく実施・審査する。
- 我々の個人的利益は、政策・計画(プラン)・プログラム・事業による影響の可能性を公開することとなんら関係がない。
- 我々は、情報にアクセスする自由と市民が意思決定に関わることの権利を支持する。
- 我々はインパクトアセスメントに対する(複雑系の)ホリスティックアプローチ(holistic approach)を容認する。
- 我々は、生態系や社会機能に影響を及ぼす可能性のある人間活動が、持続可能かつ公平な結果をもたらす方策を模索する。
- 我々は、社会のどのようなセクションであれ、人権を侵害しないインパクトアセスメントの方法を探求し、奨励していく。
- 我々は、インパクトアセスメントとそれに基づく行為に関わるいかなる暴力、嫌がらせ、脅し、不当な力を認めない
- 我々は、社会の中で利益や不利益を様々な形でこうむる様々なグループに目を向け、インパクトアセスメントを実施する。
- 我々は、公平さ(equity)への配慮をインパクトアセスメントの根本となることを主張する
- 我々は、将来世代の権利と利益を十分考慮する。
- 我々は、自らの知識と技術を高めて維持し、同僚の専門性向上を助け、専門家を目指す人々の育成を行っていく。
- 我々は個人の利益を、一般の人々や顧客、雇用主の不利益より優先させない。

### 追加情報

IAIA はすべての活動で、倫理的かつ専門的実践に取り組みます。本文書中の文言は、IAIA の活動の根本原則を示し、IAIA のメンバーにその実践を呼びかけています。IAIA は、インパクトアセスメントと関連するトピックスの一連の模範例を提供することで、会員、環境の専門家とその業界の専門性を高めようとしています。これらの文書は [www.iaia.org](http://www.iaia.org) >Publications で閲覧可能です。

いくつかの文書は英語以外の言語にも翻訳されています。

## 我々の倫理的責任

### 会の運営(Business Operations)

持続可能性を高めていくという IAIA の考え方を理解してもらうために IAIA が組織を運営する場合は、以下に示すような活動の内部ポリシーを適用する。

IAIA マネジメントの目的は、環境的持続可能性をより良い方向に変えていくような運営を行うことである。運営を行う際には、IAIA は持続可能な環境を考慮しつつ、活動し、商品やサービスを提供することを公約する。具体的な公約を以下に示す。

- 環境に対する影響、特に IAIA の大会や会議にかかる交通費や資源利用が最小限にとどめられるよう、我々の環境活動の効果をモニタリング管理します
- IAIA の情報とネットワークによるポジティブな影響を最大化させることによって、会員や会員外の人たちにインパクトアセスメントの模範例を普及させます
- 可能な限り環境に配慮している業者から環境にやさしい商品やサービスを購入します
- スタッフが業務を行う上で環境面で正しい判断が行えるよう、彼らに十分な知識を与えるためのトレーニングを行います
- 我々の環境宣言を反映した投資ポリシーを策定します
- 紙や物を再資源化/再利用し、代用品の仕様の可能性を検討します。
- 大会用に借り上げるスペース用に購入する事務用品、家具、備品は、天然資源を保全し環境影響を可能な限り最小化するものとします
- 事務所は可能な限り自然光と自然換気を活用します
- 会員サービスやスタッフのコミュニケーションを低下させることなく、スタッフのスケジュールを調整して出張を最小限に抑えます
- 紙を使わない費用の請求やサービスの提供に移行します
- 自分たちの活動を常に見直し、より環境にやさしい活動ができないか模索を続けます。

## 我々の専門家としての倫理行動規範

IAIA は各会員に、次に示す専門家としての行動規範遵守の宣誓を奨励している。これを推奨するため IAIA は、以下の署名入り宣誓書を提出した「専門家会員」という会員カテゴリーを設けている。

責任ある(self-ascribed)IAIA の専門家会員として、私は、最高の品質と信頼性のある情報とサービスを提供します。よって以下のことを守ることを宣誓します。

1. 偽りや故意のバイアスを用いることなく、誠実かつ正直に専門家としての業務を行います。
2. 自分が教育やトレーニングを受け、経験に基づいた能力のある分野でだけ、専門家としての業務を行います。自分に自信のない分野には他の専門家を雇用または参加させません。
3. 自分の専門家としての活動によって、インパクトアセスメントの全体的アプローチと共に持続可能性と公平性が促進されるよう、常に心がけます。
4. 私のかかわるすべての政策・計画(プラン)・活動・事業が、すべての法・規則・ポリシー・ガイドラインを順守しているかチェックします。
5. 既に決まっている結論や結果を正当化するため、評価にバイアスをかけたり事実を除外したり捻じ曲げたりすることを求められるような場合、専門家としてのサービス提供を断ります。
6. 自分の個人的もしくは財政的利害が、事業の結果持ち上がる利害対立に関わる場合は、雇用者とクライアントにすべて書面で報告します
7. 常に自分の専門知識とスキルの向上に努め、新しいインパクトアセスメントと自分の分野の最新の動きについていきます。
8. 報告書作成や分析で引用した情報には、出典を記載します。
9. 私の行為に対する不服が申し立てられ、IAIA 理事からなる懲罰委員会によって私の本宣誓不履行が発覚した場合は、専門家会員リストから私の名前が削除されることに同意します。

(日本語訳：浦郷昭子)